

平成24年度(2012年度)第1回池田市図書館協議会会議録

日時：平成24年7月29日(日)午前10時～12時00分

場所：池田市立図書館2階会議室

出席者：(委員) たつみ会長、岡村副会長、吉永委員、有吉委員、尾上委員、富阪委員、
彭委員、牛嶋委員、岡部委員、山神委員、
(事務局) 田淵教育部長、榊野図書館長、東本石橋プラザ館長、他職員4名

傍聴者：なし

- 議題
1. 平成23年度活動報告について
 2. 3市2町図書館広域利用の利用状況について
 3. 公民館図書コーナーの進捗状況について
 4. 第16期図書館協議会委員任期満了と第17期図書館協議会について
 5. その他

配布資料 ・池田市の図書館活動 平成24年版
・3市2町図書館広域利用状況(平成24年6月末現在)
・池田市図書館協議会委員の構成・任期について

<図書館長より、新任の岡村委員の紹介>

<田淵教育部長挨拶>

<榊野館長挨拶>

会長 それでは、平成23年度活動報告について事務局より報告をお願いします。

<事務局より資料「池田市の図書館活動 平成24年版」に基づき説明>

委員 図書館活動に年齢別のグラフがありますが、この統計はどこに反映していますか。
23歳以上となっていますが、就職活動中の人や、退職された人などの内訳は分か

りますか。この統計を資料購入時の目安にさせていただきたいです。

事務局 月別に集計が出ます。23歳以上の内訳はありませんが、中高年の利用が多く、中高大生が少ないことは把握しています。中高大生にサービスが行き届いていないことが原因ではないかと考え、現在ヤングアダルトサービスを検討しています。

委員 23歳以上の内訳がほしいですね。就労年代と退職以降の年齢は分けてほしいです。サラリーマンは少ないですか。

事務局 サラリーマンは土日に多いです。

委員 大学生は、大学図書館が充実していますが、利用はどうか。

事務局 自習室の利用が多いです。

委員 50歳以上の割合は？

事務局 30%くらいになると思います。

委員 人件費の項目がありますが、分かりやすく良いと思います。

委員 図書館サービスの指標で貸出冊数が前年度より下がっていますが、他の図書館も同様の傾向ですか。

事務局 各市の前年度の統計は秋頃に一覧表が府下の図書館に配布されますので、現在のところまだ分かりません。

委員 レファレンスと複写依頼が増えているようですね。

事務局 年々増加しています。

委員 貸出冊数が減っても貸出サービス以外のレファレンスサービスなどが増えているというのは大事なことです。どれくらいの利用が増えているかが分かるようにしてはどうか。

会長 前年度と比較ができるように次回からは前年度分の項目があれば便利ですね。

事務局 検討します。

会長 2つ目の議題の3市2町図書館広域利用の利用状況について事務局より報告をお願いします。

<事務局より資料「3市2町の図書館広域利用状況」に基づき説明>

委員 箕面市や豊中市の図書館と池田市の規模はどのくらい違いますか。蔵書数はどのくらいですか。

事務局 箕面市は69万冊、豊中市は100万冊を超えています。池田市は35万冊です。10年後には42万冊になる方向で伸ばしていきたいです。

委員 箕面市や豊中市は負担になりますね。

委員 広域利用は利用者にとって便利なシステムですが、他市の図書館を利用することによって、池田市と比較される恐れがありますね。他市ばかり利用されないか、との不安もありますね。

事務局 池田市は兵庫県と隣接しているため、今後は阪神間の図書館との広域利用が求められると考えられます。

委員 大阪は豊中、箕面の規模が大きすぎます。兵庫県は各図書館の規模がほぼ同等であるため、広域利用を行いやすい環境にあります。池田市は箕面、豊中市との差が大きすぎるため、兵庫県と同様の広域利用は難しいと考えます。広域利用は池田市にとってはありがたいシステムですが、豊中、箕面の負担にならないよう自館の努力が必要です。図書館はもっと予算を取り、せめてもう1館増やすなどの展望が必要だと思います。阪神間との連携も、ある程度同等の立場を持たないと難しいでしょう。新館を増設する計画はありますか。

事務局 ありません。

会長 広域サービスで他市への利用が多いということを素直に喜ぶだけでは良くないかもしれませんね。

会長 では、次に公民館の図書コーナーについて、事務局より報告をお願いします。

事務局 現在の進捗状況を説明いたします。先日入札が終わり、業者が決定しました。一階部分が図書コーナーになる予定です。規模は100㎡くらいになります。平成26年4月オープンを目指します。これで駅前サービスポイントを合わせて、駅付近のサービスの充実を図ります。後は北部に図書館が必要だと感じています。

会長 狭すぎるという感想になりますが、石橋プラザで規模はどのくらいですか。

事務局 382㎡、110坪です。

会長 入札が決まって、業者が決まったのであれば、私たちの意見が反映されることはないということですね。公民館は解体しますか。

事務局 年明けに解体に入り、再来年完成予定です。総合評価方式で業者を決定しています。今の公民館よりは少し大きくなり、公園側と現在シルバー人材センターの部分も敷地に入ります。1階部分にはシルバー人材センター、交通安全協会、民間のテナントと、図書コーナーが入る予定です。

委員 池田市の公民館は何館ありますか。

事務局 公民館は1館です。昔は北豊島と2館ありましたが、現在は1館です。

委員 本館をどうするかの議論をしてきましたが、全市的にプランを考える必要がありますね。公民館が1館しかないのにはびっくりしています。社会教育、生涯学習の観点から、図書館をどのように位置づけていくのかの戦略が必要ですね。移動図書館以外は阪急沿線に図書館が集中していますね。他市は公民館に小さな分室を置いている場合が多いですから、まず公民館を増やすことから考える必要がありますね。図書館だけの問題ではなく、社会教育全体で考えてほしいです。総合計画は何年目になりますか。

事務局 現在の総合計画は第6次になり、22年から34年の計画になります。第5次には図書館に関する表記がありませんでした。反省をふまえて、協議会でも答申をいただき、第6次には公民館及び図書館についての項目があり、推進の方向で書かれています。公民館のリニューアルに伴い、教育委員会も歓迎すべき方向で夢を描いていた部分はありましたが、財政的な問題等もあり、今回の公民館になり

ました。本市には地域に共同利用施設があり、教育委員会の管轄ではありませんが、このような公共施設を含めて生涯学習や社会教育の在り方を考えなおす方向性が総合政策部局でも出ています。学校の再編成の際にどのように連携できるかが課題となっています。

委員 自主計画段階ではないですか。

事務局 現実的に見えてきたのが、公民館の建て替えだけです。

委員 公民館は中学校の校区ごとくらいには必要だと思いますが、共同利用施設を活用していくのであれば具体的な計画を練り、社会教育施設としての図書館の位置づけを確立していったらこそ、他市のネットワークも構築できるのではないのでしょうか。

会長 最初に公民館が建て替わると聞いた時点では我々も多くの希望を持っていましたが、一階層増やすと一億以上かかると聞いて、あきらめたのが現状です。ただ、協議会としての図書館への期待は、行政にも伝えてもらいたいと思います。

委員 狭くても書架の工夫や、担当者などの人力でカバー出来る部分もあると思います。司書を配置する予定はありますか。

事務局 そういう機能は入れていきたいと考えています。

委員 公民館の完成までにどれだけ書架や人員配置などを練り上げていけるかが勝負だと感じています。

委員 小さい施設でも人員は必要で、経費がかかるということも心配ですね。

会長 では、次の議題について事務局よりお願いします。

事務局 16期の委員の方々につきましては、任期満了となります。17期の図書館協議会についてですが、池田市の行財政改革推進プランの中に平成26年までに図書館について指定管理制度導入の拡大を検討するという項目がございますので、次期協議会で検討をお願いしたいと考えております。

委員 指定管理について、行政としてはどう考えていますか。図書館の指定管理は以前

から多くの図書館で検討されてきましたが、成功した事例と失敗に終わった事例があります。慎重に審議しなければなりません。過去の図書館利用とは変化してきている部分がありますので、コストだけで判断するのではなく、行政側の調査が重要になってきます。箕面市は指定管理を導入しない方向に決まりました。図書館は専門性が問われますし、広域連携も考えていかなければなりません。コンビ二型にならないように気をつけないといけません。

委員 指定管理が協議会のテーマになるのであれば、資料は早めに送ってほしいです。こちらもしっかり勉強して臨みたいと思います。

会長 その他の議題について事務局よりお願いします。

<事務局より計画停電について説明>

委員 計画停電があれば市の広報などでお知らせはありますか。

事務局 市のホームページに関西電力の情報を掲載していますし、図書館のホームページに説明と館内の掲示はしておりますが、市の方針として不安を煽るような広報は行わないようにしています。

会長 以上、本日の議題については全て終了いたしました。最後になりましたが、3期6年にわたり委員を務めてきた者が6名おりますが、代表しましてご挨拶をさせていただきます。平成18年当時の長森館長より、協議会を一新し本館を良くしたいとの申し出があり、最初の2年間は議論をして、図書館からの諮問に答申を提出し、希望の光が見えた気がしましたが、結果的にあの時の答申がどこまで実現されているのか実感を持ってここにいるわけではありません。市長が変わったことも大きな要因ではあると思いますが、指定管理導入にしても、公民館の建て替えにしても、我々が夢を描いていた方向とは違った方向へ進んでいることがとても残念です。果たして協議会とは何か、ということを改めて考えさせられました。しかし、この6年でソフト面は本当に変わったと思います。職員の皆さんが努力されていることは伝わっています。ソフト面でこれだけ努力されているのに、コストの問題、つまりハード面が変えられないことで、せっかくの努力が報われていないと感じています。私たちは今期で終わりますが、17期の協議会の皆さまには前向きに答申を考えていただきたいと思えます。それでは、委員の皆さま長い間お疲れさまでした。

事務局 図書館協議会をこれで終わらせていただきます。皆さま長い間ありがとうございました。